

丸井グループ社史

丸井グループ

5

時の真相に迫る



宮米織物 ジェット工場

設備更新にこもる哀歓。

さらばコップチェンジ

オイルショックの衝撃もさめやらない昭和52年秋、繊維業界に戦慄が駆け抜けた。石川県内の織物生産量の31%を占め、年商1000億円を超えた日本一の繊維産元商社・一村産業の経営危機が表面化したのである。

“一村ショック”は、同社傘下にあった宮米織物も直撃した。織機の3分の1が運転休止に追い込まれるような事態もあったが、丸井織物の取引先である蝶理に支援を仰ぎ、スポット契約の仕事で苦境をしのぎにしのいだ。

しかし、旧来のコップチェンジを主力とする宮米織物の生産ラインでは、海外市場の追い上げで、早晚、コスト競争力を失うことは明らかだった。このため、社首脳は、コップチェンジを売却し、ウォータージェットルームへの全面切り換えを決断する。

これに対して、現場はコップチェンジ織機を支持する声が多かった。特に、技術者は織機に独自の改良を重ね、使いやすく工夫してきただけに、

なおのこと愛着が強かった。コップチェンジ織機の売却を、自分の娘を嫁に出すような思いで見送った人も少なくなかった。

宮米織物にウォータージェットルームが導入されたのは54年。最新鋭の織機182台が据え付けられたジェット工場が稼働し、入れ替わりに、長年、親しんできたコップチェンジ織機150台は、東南アジアへ売却された。この時、コップチェンジの売却価格は1台50万円。それからほどなくしてコップチェンジ織機は、ウォータージェットルームの普及により、二束三文でも買い手の付かない有りさまとなった。

時代の最先端に行く織機との出会いは、社員に新たな挑戦意欲をかきたてるきっかけとなった。宮米織物では翌55年、本社工場にもウォータージェットルーム128台が導入され、丸井織物と合わせ700台を超えるウォータージェットルームの生産体制を整えたのだった。

丸井グループ

宮米織物60年・丸井織物40年の軌跡

一村産業の経営危機に対して、官民一体の救助作戦が、東レを中心として展開された。一村産業は昭和54年1月に再建されたが、東レが資本金10億円の中の55%を出資、東レの企業戦略に組み込まれた産地代理店となった。業界は、52年下期から始まった世界的なジョーゼットブームで強撓ポリエステル織物を中心に好況が続き、採算のとれる機業が全体の90%に達した。54年の総織物生産量は、ピークだった48年に肉薄するまでとなった。

1978・1979

昭和53年

昭和54年

世界的なジョーゼットブーム

宮米織物の動き

- 54年
6月 ジェット工場設立
WJ L 182台増設
資本金を3500万円増資

丸井織物の動き

- 53年
6月 第1工場WJ L 186台入れ替え
54年
4月 ワービングスラッシャー1台入れ替え

石川県の動き

- 53年
3月 北陸スモン訴訟原告側勝訴
小松空港、小松一福岡便就航
9月 能登原子力センター起工
11月 石川県の人口が110万人を突破
54年
4月 金沢市立図書館開館
5月 金沢大学の移転地に金川地区と角間地区が有力に
7月 石川県立埋蔵文化センターが完成
9月 ホテル「ホリディ・イン金沢」がオープン
10月 能登島町と七尾市を結ぶ能登島大橋有料道路起工式
11月 小松空港初の国際定期便として日本航空・小松―ソウル便が就航

日本と世界の動き

- 53年
3月 新東京国際空港開港（成田空港）に反対する過激派ゲリラが成田管制塔を占拠
仏、ブルターニュ沖でタンカー座礁、原油22万トン流出
4月 ロッキード事件全日空ルート公判
5月 成田空港開港
12月 大平内閣成立
54年
1月 国公立大学入試の共通一次試験実施
3月 米ベンシルヴェニア州スリーマイル島原発で、大量の放射能漏れ
5月 英国総選挙で保守党が圧勝、サッチャーが先進国初の女性首相に
6月 東京で第5回サミット開催
7月 ソニーが「ウォークマン」を発売し、大ヒット
12月 マザー・テレサがノーベル平和賞を受賞



丸井織物 浅間山方面 慰安旅行



昭和54年丸井織物新卒入社者

●昭和53年

ブーム：インベーダーゲーム、カラオケ、ディスコ
 流行語：な〜んちゃって、フィーバー、アー・ウー
 流行歌：UFO、君のひとみは10000ボルト、微笑がえし

●昭和54年

ブーム：ジョギング、ウォークマン、ローラースケート
 流行語：省エネ、ウサギ小屋、関白宣言
 流行歌：魅せられて、おもいで酒、舟唄